

# 五股町

基本構想

## 五本松交流拠点

## 五股町 魅力あるまちを目指して

豊かな自然環境や生活利便性の高さ、子育て支援等が評価され、本町の人口は増加し発展を遂げてきました。しかし、少子高齢化の進展や人口分布の変化により、町の人口構造に大きな変化が生じています。

およそ2haの広さを有し、立地条件にも恵まれた五本松団地跡地は、まちの発展にとって大きな可能性を秘めています。

三股町の暮らしの魅力を高める新しい拠点を創る。このことが町の貴重な財産である団地跡地を有効に活用することにつながる、との考えに立って

### 「三股町交流拠点施設整備事業」

を立ち上げました。

## 五股町 テーマ



## 五股町 新しいまちづくりにチャレンジ

昭和40年代、新婚世帯の憧れの住まいとして、まちの発展に寄与してきた五本松団地は、時代の遷り変わりにその役目を合わせながら歩んできました。そしてもうじき、次の姿へ生まれ変わろうとしています。

三股町のまちの変わり目を象徴するかのような五本松団地。その土地の役目の生まれ変わりに合わせて、私たちは新しいまちづくりを始めるきっかけを得ることができました。

新しい「三股らしさ」の実現を目指し、町民のみなさんとともにまちづくりに挑戦します。

## 五股町 あいことば

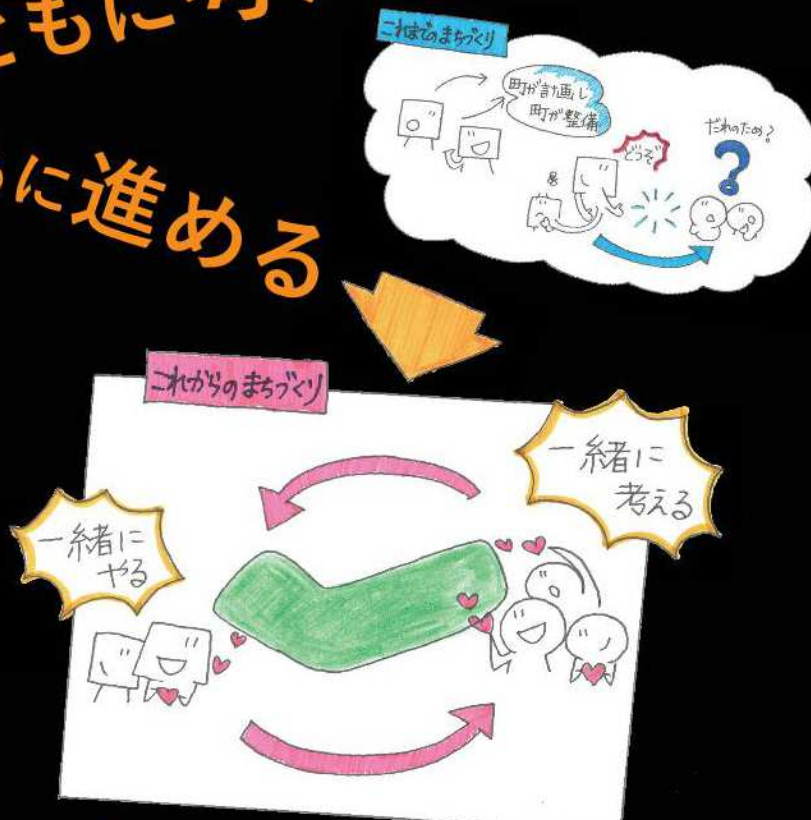
# 町民と ⇒ともに考え ⇒ともに進める

### ▶【これまで】

行政だけで考えると、町民のニーズと食い違い、あまり利用されない施設になってしまいます。

### ▶【これから】

このような食い違いが起らないようにするために、計画の段階から施設を利用する町民の皆さんと一緒に考えることが大切です。



# ともに考え ともに進めよう

## 五股町 語り合いの場

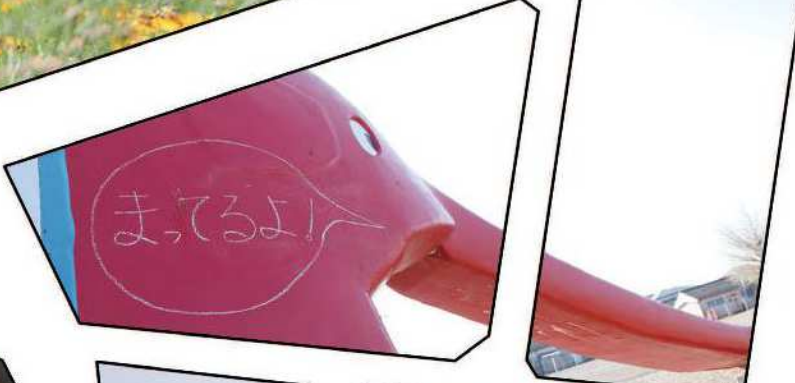
町民ワークショップ、検討委員会、審議会などいろんな方々との語り合いの場を持ちながら、一緒に考え、一緒に進めることに重点を置き、取り組みます。





(おしゃべり + おしゃべり) × 夢 = 未来のみまた

三股町 語り合いのようす



# 基本構想の要点(=)

「三股らしさ」を見い出そうとする町民性こそ



「三股らしさ」を生み出す出発点。

地域ごとに色濃く残る伝統芸能や文化

多世代や分野間など多様な交流を育もうとする気持ち

霧島や桜島を望む雄大な盆地の田園景観

優れた食材や工芸品に対する誇り

まちの歴史を重んじる



三股らしさとは

基本構想の本編

3つのルールは、「三股らしい」拠点づくりを実現するために、みんなで守る決まりごと。



詳細はコチラから↑

これからの「町民とともに考える場」を設け、意見や発想を計画に反映させながら、だれもが行きたくなくなる拠点、時間を過ごしたくなる拠点、やりたいことが実現できる創造を目指します。



## 「まちの視点」の検討

- 1\_ まちの全体像を共有。
- 2\_ まちの魅力や課題を出し合い、現在のまちの姿を捉え、目指すべきまちの将来像を思い描く。
- 3\_ 将来像に近づくために、まちの中心地がどのような役割を持つべきか考える。

## 「拠点づくりの視点」の検討

- 1\_ まちの将来像、中心地の役割を踏まえ、拠点づくりの方向性、必要な機能を考える。
- 2\_ 必要な機能をどのように配置するか検討し土地利用の考え方を整理する。
- 3\_ 拠点づくりのコンセプトを考える

## 特定目的達成機能

運動や健康増進など特定のニーズや目的に合わせハード整備を行う。

トレーニングルームや屋内プールで仲間たちと健康づくりに励む。

緑や水辺に触れあえる、歩きたくなるウォーキングコース。

## 多用途空間提供機能

集まりやすい場所、おしゃべりできる場所。

三股の歴史に触れ学べる場。

特別な機能ではなく「やりたいこと」ができる空間を提供。

ヨガなど健康づくりもできる部屋。

三股ならではの盆地の景観が展望できる場所。

作品展示ができる場所。

子ども同士や親子で遊べる屋内スペース。



## 稼ぐ機能

民間と連携し「稼ぐ」機能を付加する。

カフェや地場産品の物産店。

大人も楽しめる夜の賑わい。

広場でマルシェやキッチンカー

「地元食材を活かして加工販売してみたい」ができる。

チャレンジショップ。

屋外ステージや屋根付き広場でイベント開催。

語り合いから生まれる拠点が「三股らしい」拠点です。

## プロセスのルール

- ①あらゆる段階で「町民とともに考える場」を設ける。
- ②運営する人、利用する人の意見を聞き計画に反映する。

## 空間づくりのルール

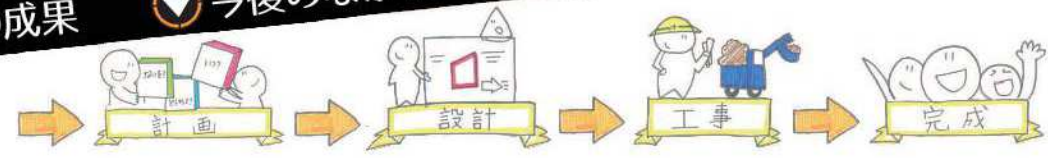
- ①時間を過ごしたくなる雰囲気の良い空間づくり。
- ②「三股らしさ」が感じられる空間演出(盆地の景色、田園風景、食、歴史文化、元気なまち)

## 事業経営のルール

- ①まちの「身の丈にあった」施設整備とする。
- ②民間との連携を検討し「稼ぐ」機能を付加する。

## 今年度の成果

## 今後のながれ



## ターゲットと目的

ターゲットは

「町民の暮らし」

みまたの暮らしに潤いと豊かさを与えることを目的にします。

「町民に愛されたいこそ、町外からも魅力的な拠点に」

## コンセプト

「五感に優しい、居心地の良い

まちのたまり場」

気軽に立ち寄れる

ゆったりできる

くつろげる

人の行き来

風のそよぎ

日差しや木陰

あそび子ども

おしゃべりの様子

おいしい香り

つめたい水

## 「ぶじや」のしぐさ方

- 一 集まる場所を確保する。
- 二 いろいろな人たちと集まる。
- 三 三股の「ぶじや」してしゃべる。
- 四 楽しいこと、やりたいことを考える。
- 五 やりたいことは、やってみる。

## 「ぶじや」しぐさの実践

集まる場所をお探しの方。 ゴー五本松

いろいろな人と集まりたい方。 ゴーゴー五本松

三股のことが気になる方。 ゴーゴゴ五本松

楽しいことを考えたい方。 ゴーゴゴゴ五本松

やってみたいをやりたい方。 ゴーゴゴゴゴ五本松

みんないっしょに五本松へ ゴー！！